

ホーム名：くみのき苑グループホーム3F

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>法人の理念を踏まえ、地域社会に参画するという理念を掲げエレベーター横に掲示している。</p>			
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域との交流は少ない。地域のスーパーなどに買い物に出かけている。昨年8月より、認知症デイサービスを開始し、地域の方にご利用いただいている。</p>			
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>認知症デイサービスの受け入れを通じて、ご家族と支援について話すことができている。</p>			
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>二ヶ月に一回の運営推進会議で、サービス内容や報告事を伝えている。会議で出た意見は、サービス向上に向けて取り組んでいる。</p>			
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市担当者や地域包括支援センターの職員と、連絡を取り合っている。認知症デイサービス利用者の紹介をいただいている。</p>			
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束についての会議を行い、周知している。玄関の鍵はできていない。</p>			
7		<p>○虐待防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待についての勉強会を開き、学ぶ機会を設けている。</p>			

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域福祉権利擁護事業から成年後見人制度を利用された方がおられ、職員が学ぶ機会となった。また、成年後見人の申請を進めていくことができた。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時、ご家族に説明を行い、理解・納得を図っている。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族アンケートを実施し、その結果を対策に挙げ、今年度の目標として取り組んでいる。</p>		
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>食費等の普段の買い物で使用する費用については、意見や提案を上げる機会を作っている。</p>		
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者が、職員個々の状況把握まではできていない。資格取得に向けては、勉強会の実施を行い、推進している。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修や内部研修が行われている。内部研修では、研修部が行う研修や特養・GH合同の人材育成プログラムを実施している。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>大阪狭山市・河内長野市のグループホーム交流会を2～3ヶ月に一回実施されていたが、現在は行われていない。</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に面接を行い、ご本人との関係づくりに努めている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前の面接を行い、ご家族との関係づくりに努めている。入居後も、面会時に日々のご様子を伝え、以前の暮らしぶりを伺い、ご本人の安全に努めている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居前後で、それまでの生活と違う点や困ることはないか把握できるように、聞き出せるように努めている。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人と積極的に関わり、信頼関係を築くことに努めている。他入居者との関係作りもできるように、職員が間に入り関係づくりに努めている。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご本人とご家族との面会時間を大切にしている。一緒にフロアで過ごされたり、ご家族との外出や外泊も行っている。</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みのある方との面会を促し、関係が途切れないように努めている。</p>		
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>ご利用者同士の関係を把握し、職員が間に入り良好な関係を築けるように努めている。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所後も、同法人内であれば、面会することもでき、ご家族とお話できる場合はご様子などをお聞きしている。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ご本人やご家族に意向を伺い、本人本位の暮らしができるように努めている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める</p>	<p>ご家族に生活歴を記入していただき、生活歴や生活環境の把握に努めている。入居後もご家族も共に調整している。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>アセスメントシートを利用し、現状把握に努めている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人のご様子を観察・記録し、現状把握をし、介護計画に活かしている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々のご様子やケアの実践について記録し、情報共有をしている。介護計画に添った内容も記録し、見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>グループホームでの生活が困難になられた時に備えて、特養などの事前入所申し込みを促している。また、必要時には老健などの紹介も行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>二ヶ月に一回、介護相談員の面会があり、ご本人の思いを聞き出せたケースもある。今年度より、定期的なお話ボランティアの受け入れを実施している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主に、提携病院の医師が主治医となるが、病状やご家族の希望で、他の医療機関を受診することもある。</p>		

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>特養併設の看護師に、必要に応じて入居者の方々の状態を看てもらって指示を仰いでいる。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時には介護サマリーで情報伝達をしている。退院については、担当医・看護師・相談員と調整し、早期退院できるように努めている。また、近くの病院であれば、ご本人が安心できるように面会に伺っている。</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化に備えて、特養の事前申し込みを促している。状態変化があった場合は、ご家族に状態や病状の説明、起こり得る事やグループホームで出来ることを相談し、介護方針を共有している。</p>		
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応について、全体会議で訓練や説明を実施している。</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の消防訓練を実施している。災害時には、併設の特養が地域の避難場所になっている。</p>		

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>入居者の方を尊重した、声かけや対応がをしているが、定期的に話し合う場を設け、改善に努めている。</p>		
37	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日々の関わりを大切にし、ご本人の思いを聞き出し自己決定できるようにしている。</p>		
38	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ご本人の思いを大切にし、無理強いすることのないように、個々のペースに合わせた支援を行っている。</p>		
39	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>美容院に外出したり、毎日の身だしなみに留意し、個々にあった支援を行っている。</p>		
40	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>買い物に出かけて一緒に献立を考えたり、好みを聞きだせるように、一緒に準備や食事、片付けを行っている。</p>		
41	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量や水分摂取量を把握し、摂取量に応じて対応している。著しい増減がある場合は、医師や看護師に相談している。</p>		
42	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、個々に応じた口腔ケアを実施している。</p>		
43	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄パターンを把握できるように、排泄チェックをし、できるだけ自立した排泄ができるように支援を行っている。</p>		
44	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便秘にならないよう、水分摂取や適度な運動に気をつけている。排便量を毎日把握し、必要時には下剤の追加を行い、便秘にならないよう取り組んでいる。</p>		
45	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴の希望があれば、できるだけその日に入ってもらえるよう配慮している。入浴の順番も、個々に合わせて配慮している。</p>		

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心して 気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個々の生活習慣を知り、それに合わ せた就寝介助を行っている。不眠で あれば、日中休息を促している。安 眠できるよう、声かけや環境に気を つけている。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や要領について理解し ており、服薬の支援と症状の変化の確 認に努めている</p>	<p>個々の服薬の副作用や要領につい ての理解は、全職員となると理解力に 乏しい。しかし、服薬目的や用法に ついては、情報を共有できており、 症状の変化の確認に努めている。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせ るように、一人ひとりの生活歴や力を 活かした役割、嗜好品、楽しみごと、 気分転換等の支援をしている</p>	<p>その人らしく生活できるように、 個々の希望に添った楽しみごとや、 生活歴などから個人を知り、張り合 いのある生活支援に努めている。</p>		
49	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に努 めている。また、普段は行けないよう な場所でも、本人の希望を把握し、家 族や地域の人々と協力しながら出かけ られるよう支援している</p>	<p>個々の希望を聞きだせるよう、関わり を大切にしている。馴染みの場所 への外出希望があれば、出かけられ るようご家族とも協力している。</p>		
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切 さを理解しており、一人ひとりの希望 や力に応じて、お金を所持したり使 えるように支援している</p>	<p>お金の所持を希望される方には、ご 自身で所持していただいております。 買い物時、支払いも行って</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話を したり、手紙のやり取りができるよう に支援している</p>	<p>ご本人から希望があれば、電話を かけたり、手紙も出していただいで いる。</p>		
52	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用 者にとって不快や混乱をまねくような 刺激（音、光、色、広さ、温度など） がないように配慮し、生活感や季節感 を採り入れて、居心地よく過ごせるよ うな工夫をしている</p>	<p>季節感のある装飾をしたり、居心地 よく過ごせる空間作りに努めてい る。状態によって、居心地よく過 せられるよう、リビングのテー ブル配置を変えている。</p>		
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居 場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、 気の合った利用者同士で思い思いに過 ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビング内にソファを設置し、違う 空間を提供できている。和室も活用 できており、独りになれたり静かに 過ごせる空間を提供できている。</p>		
54	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人 や家族と相談しながら、使い慣れたも のや好みのものを活かして、本人が居 心地よく過ごせるような工夫をして いる</p>	<p>馴染みの家具などで、居場所を感じ ることができ、落ち着いた環境にな るよう配慮している。</p>		
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な 環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できるこ と」や「わかること」を活かして、安 全かつできるだけ自立した生活が送れ るように工夫している</p>	<p>個々のニーズの把握に努め、安全な 歩行や伝い歩きができるように家具 の配置や、物を置きすぎないよう環 境に留意している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない